

第4節 室内楽定期演奏会

昭和49年11月、音楽学部主催による室内楽定期演奏会の第1回が開催され、以後年1回行われることとなった。これは室内楽の授業の成果を発表する場である。それ以前にも、学内では昭和39年から自主的な演奏会として室内楽研究発表会が行われてきた。また、本学における室内楽の授業や演奏会の記録は、すでに東京音楽学校発足後間もない頃から見ることができる。話は明治時代に遡るが、ここで本学において室内楽がどのように取り上げられてきたか、ごく簡単に辿ってみよう。

明治33年9月、規則改正の際、研究科では専門実技の他に合奏練習が週に2時間設けられた。外国人教師のケーベル、ユンケル、ハイドリヒ、ヴェルクマイスターが名を連ね、幸田延も加わってベートーヴェンの弦楽四重奏曲、シューマンのピアノ五重奏曲などを演奏している。

『東京音楽学校一覽』の明治42年4月のカリキュラムには、ユンケルの担当学科目に「室楽」とある。同年、本科器楽部の学科目に3学年とも「器樂合奏—室樂及管絃樂」4時間が加わり、さらに研究科規定においては「器樂部ニ在リテハ器樂ヲ主科トシ器樂合奏（室樂及管絃樂）ヲ副科トシ其ノ他ヲ兼科トシ…」と記されており、室内楽がカリキュラムの一環として行われていたことが窺われる。

その後も、明治・大正年間を通じて、ベートーヴェン、ブラームス、ラフマニノフ、フランク、グリーグ、サン＝サーンスらの室内楽が当時の演奏会プログラムに載っている。

音楽学部発足後も、室内楽の授業は引き続き弦・管・打楽器科のカリキュラムに組み込まれている。これは第一に教育上の必要性に基づいているが、第二に、学生たちが卒業後、それぞれの専攻楽器でソリストとして舞台に立つよりは何かの形でアンサンブルに加わって活動していくことの方がはるかに多いという実状を踏まえている。昭和39年、講座制が実施されるとともにアンサンブル研究室が置かれ、奏楽堂で室内楽

研究発表会が行われるようになった。これは音楽学部として公式のものではないが、以後、昭和51年の第24回までほぼ定期的に行われている。第1回のプログラムは学内に保存されていないため、今回曲目を確かめることはできなかったが、第2回はイベール〈二つの断章〉、ストラヴィンスキーの〈兵士の物語〉他となっている。

昭和47年4月、室内合奏講座（昭和53年度以降は室内楽講座となる）が開設された。講座開設以来、室内楽の授業はおおよそ次のような方法で行われてきた。室内楽は弦・管・打楽器専攻学生においては1年次必修で、2年次以降は選択科目となる。特に室内楽が重要視される弦楽器専攻の場合、1年次は学生番号で割り振られたメンバーで、室内楽の基本となる弦楽四重奏の奏法を学ぶ。授業は1グループごとに40分、または2グループ合同で80分が原則である。ハイドン、モーツァルトを中心とする古典派の作品を選び、年1度の実技試験を受ける。2年次の選択者は、今度は自主的に弦楽四重奏を組み、一定の枠の中で作品を選び学んでいく。管打楽器専攻学生の場合もほぼ同様である。2年次までは木管同士、金管同士、打楽器同士のグループで学ぶ。3年次になるとピアノ専攻学生が室内楽を履修できるようになり、ピアノを含む室内楽の学習も可能となる。また弦楽器と管楽器、木管と金管、ピアノと打楽器などの組み合わせも自由になり、レパートリーも経験と技量に応じて少しずつ広がっていく。この方針は大学院まで基本的には同じである。そして試験の結果、上位の成績を修めたいいくつかのグループが、あらためて定期演奏会のために、それぞれの試験曲あるいは履修曲によってオーディションを受けるのである。定期演奏会の出演グループはこうして選ばれる。平成4年度から、室内楽の履修方法や学習の体系は若干変更になり、現在もなお検討を重ねている。

室内楽講座開設当初は、ピアノ科教授として長年後進の指導にあたっていた田村宏（平成3年3月退官、本学名誉教授）を主任に、ヴァイオリンの海野義雄（翌年から日高毅）、クラリネットの細野孝興の3教官が任に当たった。

室内楽のグループ数は、その年ごとの学生数・履修者数によるが、大学院まで含めて弦楽四重奏だけでもほぼ40、さらに他の編成も加えると75近い数にのぼる。したがって、常勤スタッフ3名のほか、弦・管・打楽器の常勤および非常勤教官30名近くが兼任して指導にあたっている。

学生たちはカリキュラムの中でアンサンブルを経験し、室内楽という、ソナタでも協奏曲でもオーケストラでもないジャンルに触れている。メンバーは年々交代することが多いが、なかには1年次のメンバーがそのまま卒業時まで続く場合もある。昭和58年にはフルートを専攻する学生が大学院の室内楽講座に入学して、室内楽専攻の第1回生が誕生した。

学内における室内楽の教育は、着実に根づいている。学生同士で自主的に室内楽を編成し、しかも公開の演奏会を定期的に開くことができるためには、指導の体制もさることながら、メンバーのレベルが一定の水準に達していることが条件となる。このような条件を満たしているところは、わが国ではほとんど唯一であり、欧米を見渡しても数少ない学校のひとつであるといえよう。しかし、いかに行き届いた教育が行われ、優秀なグループが育っても、卒業後、同一メンバーで活動が続くことが実際には難しいという現状がある。その最大の理由は、室内楽で生活が成り立ちにくいからである。室内楽を続けるために、多くの場合、メンバーはほかの手段、すなわちオーケストラに属するとか、学校や自宅で後進の指導にあたるなどの手段で生計を立てることになる。その結果、メンバーが顔を揃えて練習することは、生活の中で二次的なものとならざるを得ないのである。

室内楽定期演奏会の出演者は、上に述べたような事情により、通常学生のみであるが、100周年記念演奏会では「教官と学生による室内楽の夕べ」が催され、教官だけのグループ、学生だけのグループ、そして教官と学生合同によるやや大編成のグループの競演となった。(100周年記念演奏会のプログラムは第5章を参照のこと。)

なお、この項をまとめるにあたり、室内楽講座主任の日高毅教授から

貴重なご教示を頂いた。

第1回

49. 11. 8 (金) 18:30

東京文化会館小ホール

学内での室内楽にたいする関心の高まり、またそれにたいする教育的意義の再認識、そういった気運から、従来の教育体制をよりいっそう充実させる目的をもって一昨年、室内合奏が独立講座として発足したことは当然のこととはいえ、まことによこばしい限りである。またこの機会に、これまで学内において行われていた発表演奏会を年一回の芸大定期とし、これによって平生の研究成果を広く世に問う機会のできたことも学生諸君にとってはこの上ないよろこびであろう。しかしながら独立講座としての発足以来未だ日も浅く、現在のところすべての点においてけっして満足すべき状態とはいえませんが、われわれ関係者一同、今後ますますこの講座内容の充実発展に努力する覚悟でいることをここに申しあげ、合わせて諸兄姉のいっそうのきびしい御叱正、御鞭撻を心よりおねがしいたす次第である。

昭和49年11月8日

室内合奏講座主任 田村 宏

曲目および出演者

String Quartet, Op. 33-3〔鳥〕……………F. J. Haydn

1st 木村 真 弓 Vla 百 武 由 紀
2nd 合屋 多 満 江 Vc 津 留 崎 直 紀

Clarinet Trio K. 498, E $\flat$ major ……………W. A. Mozart

Pf 井 上 佐 知 子 Vla 山 崎 陽 子
Cl 磯 部 周 平

String Quartet No. 8, Op. 59-2……………L. v. Beethoven

1st 上 野 真 樹 Vla 東 義 直
2nd 山 中 光 Vc 寺 井 康 裕

— 休 憩 —

Trois Pièces BrèvesJ. Ibert

Fl	櫛田玄	Hr	山口秀二
Ob	横川洋子	Fg	大埜辰男
Cl	佐川聖二		

Piano Quintet F minorC. Franck

Pf	中村裕美子	Vla	百武由紀
1st	伊勢久乃	Vc	服部隆司
2nd	伊藤佳子		

第2回

50. 11. 20 (木) 18:30

朝 日 講 堂

曲目及び出演者

1. Serenade, D major op. 25.....L. v. Beethoven

セレナーデ ニ長調 作品25 ベートーヴェン

Fl	木津芳夫	Vla	百武由紀
VI	美井晶子		

2. Quintet, for Wood Wind Instruments G minor

.....P. Taffanel

木管五重奏曲 ト短調

タファネル

Fl	前市川祐子	Hr	滝崎真澄
Ob	市川清子	Bn	熊谷将弘
Cl	須藤文子		

3. Quintet, for Brass InstrumentsE. Zindars

金管五重奏曲 ジンダース

1st	Tp	坂井俊博	Tb	大矢成恵
2nd	Tp	藤岡田	Tuba	杉山
	Hr	堀田		

— 休 憩 —

4. Piano Trio, No. 3 C minor op. 101.....J. Brahms

ピアノ三重奏曲 第三番 ハ短調 作品101 ブラームス

Pf	渡辺健二	Vc	黒川正三
VI	沢和彦		

5. String Quartet, No. 1 op. 7B. Bartók

弦楽四重奏曲 第一番 作品7 バルトーク

1st	VI	上野真樹	Vla	東義直
2nd	VI	山中光	Vc	寺井康裕

第3回

51. 11. 6 (土) 18:30

東京文化会館 小ホール

プログラム

小室内楽曲 作品24の2.....ヒンデミット

Kleine Kammermusik für fünf Bläser Op. 24 Nr. 2

P. Hindemith

Fl.	山田恵美子	Hr.	岡山雅枝
Ob.	定成綾子	Bn.	太田茂
Cl.	十亀正司		

ピアノ三重奏曲.....ラヴェル

Trio pour Piano, Violon et Violoncelle M. Ravel

Pf.	前田あんぬ	Vc.	黒川正三
VI.	沢和彦		

ピアノ五重奏曲 作品44 変ホ長調.....シューマン

Piano Quintett Op. 44 Es Dur R. Schumann

Pf.	蓼沼恵美子	Vla.	川崎和憲	
1st	VI.	水野佳子	Vc.	中務幸彦
2nd	VI.	鈴木純子		

— 休 憩 —

舞踏の練習曲……………オハナ
Études Chorégraphiques M. Ohana

Perc. I 中谷孝哉 Perc. III 前田均
" II 河合尚市 " IV 山口多嘉子

八重奏曲 作品166 ……………シューベルト
Oktett für 2 Violinen, Viola, Violoncello, Fr. Schubert
Kontrabass, Klarinette, Horn und Fagott Op. 166 F Dur

1st Vl. 細谷雄紀 Vla. 山崎啓子 Cb. 津島明彦 Hr. 堀田裕
2nd Vl. 鈴川和子 Vc. 松本文子 Cl. 保坂陽子 Bn. 太田茂

第4回

52.10.20 (木) 18:30

東京文化会館小ホール

プログラム

サクソフォン四重奏曲……………デザンクロ
Quatuor pour saxophones A. Desenclos

Sop. 仲田守 Ten. 大山日出男
Alt. 田畑真美 Bar. 池上政人

ピアノ四重奏曲 変ホ長調 作品47……………シューマン
Klavierquartett Es-Dur Op. 47 R. Schumann

Pf. 奥村晃博 Vla. 波木井賢
Vl. 天満敦子 Vc. 大木愛一

—休憩—

フルート、ヴィオラ、ハープのためのソナタ……………ドビュッシー
Sonate pour Flûte, Alto et Harpe Cl. Debussy

Fl. 三上明子 Hp. 山畑るに絵
Vla. 市川かおる

弦楽四重奏曲 ハ長調 作品59の3……………ベートーヴェン

Streichquartett C-Dur Op. 59-3 L. v. Beethoven

1st Vl. 大谷康子 Vla. 波木井賢
2nd Vl. 坂田和泉 Vc. 松本文子

第5回

昭和53年11月11日(土) 18時30分 第一生命ホール

プログラム

弦楽四重奏曲 第19番 ハ長調「不協和音」……………モーツァルト
Streichquartett Nr. 19 C-Dur KV. 465 "Dissonanz"

W. A. Mozart

1st Vl. 大谷康子 Vla. 波木井賢
2nd Vl. 坂田和泉 Vc. 松本文子

管楽器のための小室内楽曲 作品24の2……………ヒンデミット
Kleine Kammermusik für fünf Bläser Op. 24 Nr. 2

P. Hindemith

Fl. 田野秀康 Hr. 重見通典
Ob. 坂田秋也 Fg. 大澤昌生
Cl. 森川修一

チェロ・オーケストラのためのブラジル風のバッハ
……………ヴィラローボス

Bachianas Brasileiras No. 1 for Orchestra of Violoncelli
H. Villa-Lobos

Vc. 金谷昌治 松本文子 宮澤政司 重松正昭
大島朱美子 山本恵以子 花崎薫 鷹栖光昭

—休憩—

ピアノ三重奏曲……………ラヴェル
Trio pour Piano, Violon et Violoncelle M. Ravel

Pf. 小林功 Vc. 花崎薫
Vl. 佐々田紅

弦楽四重奏曲 ニ短調「死と少女」……………シューベルト
Streichquartett d-moll Op. posth. F. Schubert
 “Der Tod und das Mädchen”

1st Vl. 小 西 朝 Vla. 川 人 真紀子
 2nd Vl. 廣 島 美 香 Vc. 鈴 木 友 子

第6回

昭和54年11月7日（水） 18時30分 東京文化会館小ホール

プログラム

木管五重奏曲 ハ長調……………アリュー
Quintette en Ut pour Instruments à vent Cl. Arrieu

Ff. 宗 美 沙 子 Hr. 高 倉 明
 Ob. 浅 川 和 宏 Fg. 田 原 涉
 Cl. 木 村 健 雄

サクソフォン四重奏曲……………デザンクロ
Quatuor pour Saxophones Al. Desenclos

Sop. 佐 藤 典 夫 Ten. 北 尾 厚 志
 Alt. 井 上 ひ と み Bar. 原 雅 志

ピアノ三重奏曲 ハ短調 作品101……………ブラームス
Klaviertrio c-moll Op. 101 J. Brahms

Pf. 迫 昭 嘉
 Vl. 富 永 暢 Vc. 斎 藤 章 一

—休憩—

弦楽四重奏曲 ト短調 作品10……………ドゥビュッシー
Quatuor à cordes Op. 10 Cl. Debussy

1st Vl. 大 谷 康 子 Vla. 波 木 井 賢
 2nd Vl. 坂 田 和 美 Vc. 松 本 文 子

第7回

昭和55年11月13日（木） 18時30分 東京文化会館小ホール

プログラム

ピアノと木管五重奏のための六重奏曲……………プーランク
Sextuor pour P^{no}, Fl., H^{rh}, Cl., Cor et B^{on} Fr. Poulenc

Pf. 柴田 由紀子 Ob. 辻 功 Hr. 中島大之
 Fl. 齋 藤 曜 子 Cl. 板 倉 康 明 Fg. 多田 逸左久

—休憩—

金管五重奏曲 作品5……………エヴァルド
Quintet Op. 5 V. Ewald

1st Tp. 福 田 善 亮 Tb. 清 岡 太 郎
 2nd Tp. 菅 坡 雅 Tuba 佐 藤 潔
 Hr. 世 川 望

サクソフォン四重奏曲……………パスカル
Quatuor de saxophones Cl. Pascal

Sop. 池 上 政 人 Ten. 小 串 俊 寿
 Alt. 三 上 孝 Bar. 中 村 均

—休憩—

弦楽四重奏曲 イ短調 作品51-2……………ブラームス
Streichquartett a-moll Op. 51 Nr. 2 J. Brahms

1st Vl. 奥 田 雅 代 Vla. 市 川 かおる
 2nd Vl. 林 京 子 Vc. 田 中 雅 弘

第8回

昭和56年11月19日（木） 18時30分 東京文化会館小ホール

プログラム

七重奏曲 変ホ長調 作品20……………ベートーヴェン
Septett Es-Dur Op. 20 L. v. Beethoven

Vl. 田 崎 瑞 博 Vc. 本田ルル子 Cl. 及川 豪 Fg. 嶋田典子
 Vla. 杉山光太郎 Cb. 吉 浦 勝 喜 Hr. 有馬純晴

管楽器のための小室内楽曲 作品24の2……………ヒンデミット
Kleine Kammermusik für fünf Bläser Op. 24 Nr. 2

P. Hindemith

Fl.	石	井	芳	仲	Hr.	佐	藤	純	夫
Ob.	長	岡	大	輔	Fg.	出	口	智	真
Cl.	原	田	洋	子					

金管楽器のためのソナチネ……………ボザ
Sonatine pour 2 Tp., 1 Cor, 1 Trb. et 1 Tuba E. Bazza

1st	Tp.	福	田	善	亮	Tr.	長	瀬	伸太郎
2nd	Tp.	山	本	清	之	Tuba	佐	藤	潔
	Hr.	中	島	大	之				

—休 憩—

クラリネット五重奏曲 ロ短調 作品115……………ブラームス
Klarinetten-Quintett h-moll Op. 115 J. Brahms

	Cl.	小	曾	根	み	ほ	Vla.	両	角	里	香
1st	Vl.	川	原	千	真		Vc.	本	田	ル	子
2nd	Vl.	田	中	淳	生						

弦楽四重奏曲 第5番……………バルトーク
String Quartet No. 5 B. Bartók

1st	Vl.	島	根	恵	Vla.	須	藤	三千代
2nd	Vl.	三	溝	あけみ	Vc.	溝	口	肇

第9回

1982年11月14日(日)

1:30開場 2:00開演

東京文化会館小ホール

ごあいさつ

室内楽講座が開設されて今年で10年目、この室内楽定期演奏会も9回目を迎えます。この10年をふりかえってみますと学生の室内楽奏者としての

技量は年々上り、情熱も意欲も一段と高まって来ております。過重とも思える大学のカリキュラムの中で、各々の時間割を調整しながら、室内楽の練習時間を作り出すことは大変なことです。室内楽の楽しさを知った学生たちは、何とかやりくりをしながら場所と時間を見つけ出して練習に励んでいます。

室内楽では個人的な音楽技量が優れていることは第一条件ですがそれに加えて、グループの中での自分の役割をよく理解し、全体として調和のとれた音楽を創造することが大切です。《他を生かし、自分を生かす》これがグループとして自然に出来るようになる迄には日々のたゆまぬ訓練と、音楽全体の研究が必要です。

60組にのぼるグループが室内楽を勉強していますが、今日演奏するのは、オーディションによって選ばれたグループです。学生たちの日頃の努力と成果をお聴かせ出来ますことをうれしく思います。と同時に来年も又尚一層よい演奏をお聴かせ出来るように努力したいと思います。

室内楽科主任 日高 毅

プログラム

フルート、セロとピアノのためのソナタ 三善 晃
Sonate pour Flûte, Violoncelle et Piano A. Miyoshi

Fl. 山崎 衆 Vc. 小山みどり Pf. 坂井千春

ピアノ三重奏曲 ハ短調 作品101 ブラームス
Klaviertrio c-moll Op. 101 J. Brahms

Pf. 三國正樹 Vl. 沼田園子 Vc. 花崎 薫

—休 憩—

弦楽四重奏曲 ラヴェル
Quatuor à cordes M. Ravel

1st	Vl.	塩	見	裕	子	Vla.	西	下	み	ゆ	き
2nd	Vl.	笠	原	直	美	Vc.	田	中	雅	弘	

バシアーナス・ブラジレイラス 第1番 ヴィラ＝ロボス
 Bachianas Brasileiras No. 1 for Orchestra of Violoncelli
 H. Villa-Lobos

1st Vc. 花崎 薫 元井あづさ 3rd Vc. 田中雅弘 小山みどり
 2nd Vc. 平田昌平 浅岡洋平 4th Vc. 宇野哲之 森沢 泰

第10回

1984年2月27日(月)

6:00開場 6:30開演

東京文化会館小ホール

プログラム

ピアノ五重奏曲 イ長調 作品81 ドヴォルザーク
 Quintet A major op. 81, for piano, 2 violins, viola
 and violoncelloA. Dvořák

Pf. 齋藤洋子(3年) Vla. 後藤龍伸(2年VI)
 1st Vl. 牧野 恵(") Vc. 小山みどり(3年)
 2nd Vl. 杉本真弓(")

木管五重奏曲 ガベール
 Quintette pour flûte, hautbois, clarinette, cor et basson
P. Gabaye

Fl. 湯本洋司(3年) Hr. 山内研自(3年)
 Ob. 浦 丈彦(") Fg. 松本和人(")
 Cl. 南川 肇(")

金管五重奏曲 エヴァルド
 Quintet op. 5, for 2 trumpets, horn, trombone and tuba
V. Ewald

1st Tp. 樋渡 誠(3年) Trb. 長谷川博亮(3年)
 2nd Tp. 早坂宏明(") Tuba 大森一夫(2年)
 Hr. 森 雅彦(2年)

休憩

セレナード 作品12 コダーイ
 Serenade op. 12, for 2 violins and viola.....Z. Kodály

1st Vl. 堀内麻貴(院2年) Vla. 須田あゆみ(院2年)
 2nd Vl. 田中淳生(")

弦楽四重奏曲 第2番 作品17 バルトーク
 String Quartet no. 2 op. 17B. Bartók

1st Vl. 松原勝也(2年) Vla. 上田敏子(2年)
 2nd Vl. 安富 洋(") Vc. 山本祐ノ介(")

弦楽四重奏曲 第8番 作品110 ショスタコーヴィチ
 String Quartet no. 8 c minor op. 110.....D. Shostakovich

1st Vl. 矢野 榮和(院1年) Vla. 山田雄司(院1年)
 2nd Vl. 笠原直美(") Vc. 浅岡洋平(2年)

第11回

1985年2月25日(月)

6:00開場 6:30開演

abc 会館ホール

プログラム

ピアノ五重奏曲第2番 ハ短調 作品115 第1, 2楽章 フォーレ
 Piano Quintet No. 2 c-minor Op. 115. I. IIG. Fauré

Piano: 小坂圭太(4年) Viola: 上田恭子(4年)
 1st Violin: 鈴木晶子(") Violoncello: 鈴木和生(")
 2nd Violin: 東田由里(")

木管五重奏曲 第1, 2, 3楽章 平尾貴四男
 Quintet for Wood-Winds. I. II. III.....K. Hirao

Flute: 湯本洋司(4年) Horn: 山内研自(4年)
 Oboe: 浦 丈彦(") Fagott: 松本和人(")
 Clarinet: 南川 肇(")

6つのバガテル 第1, 2, 3, 4曲 リゲティ
 Sechs Bagatellen. I. II. III. IVG. Ligeti

Flute: 吉岡アカリ(3年) Horn: 金谷直樹(3年)
 Oboe: 吉岡利江(〃) Fagott: 松尾万里(〃)
 Clarinet: 日比野裕幸(〃)

クラリネット五重奏曲 ロ短調 作品115 第1, 2楽章

ブラームス
 Clarinet Quintet b-minor Op. 115. I. IIJ. Brahms

Clarinet: 恩智聡子(院1年) Viola: 山田雄司(院2年)
 1st Violin: 影山誠治(院2年) Violoncello: 小山みどり(4年)
 2nd Violin: 齋藤真知亜(4年)

—休憩—

弦楽四重奏曲第1番 作品7 第2, 3楽章 バルトーク
 String Quartet No. 1 Op. 7. II. IIIB. Bartók

1st Violin: 岩戸有紀子(2年) Viola: 大沼幸江(2年)
 2nd Violin: 矢野晴子(〃) Violoncello: 丸山泰雄(〃)

弦楽四重奏曲 第14番 ニ短調 "死と乙女" 第1, 2, 4楽章

シューベルト
 String Quartet No. 14 d-minor
 "Death and the Maiden". I. II. IVF. Schubert

1st Violin: 漆原啓子(3年) Viola: 河野理恵子(3年)
 2nd Violin: 平川景子(〃) Violoncello: 服部 誠(〃)

第12回

1986年2月13日(木)

6:00開場 6:30開演

abc 会館ホール

プログラム

オーボエ主奏 管楽五重奏のためのセレナーデ ジョリヴェ

Sérénade pour Quintette à vent avec Hautbois principal
A. Jolivet

Flute: 吉岡アカリ(4年) Horn: 金谷直樹(4年)
 Oboe: 吉岡利江(〃) Fagott: 松尾万里(〃)
 Clarinet: 日比野裕幸(〃)

弦楽四重奏曲 ヘ長調 ラヴェル
 String Quartet F MajorM. Ravel

1st Violin: 田中雅子(4年) Viola: 上田敏子(4年)
 2nd Violin: 梶山久美(〃) Violoncello: 浅岡洋平(〃)

弦楽四重奏曲 ト短調 作品10 ドビュッシー
 String Quartet g minor Op. 10C. Debussy

1st Violin: 岩戸有紀子(3年) Viola: 大沼幸江(3年)
 2nd Violin: 矢野晴子(〃) Violoncello: 丸山泰雄(〃)

—休憩—

弦楽四重奏曲 第3番 バルトーク
 String Quartet no. 3.....B. Bartók

1st Violin: 小宮 直(3年) Viola: 栗丸かおり(3年)
 2nd Violin: 三木希生子(〃) Violoncello: 菊地知也(〃)

ピアノ五重奏曲 ヘ短調 フランク
 Piano Quintet f minor.....C. Franck

Piano: 岩井美子(3年) Viola: 森田芳子(3年)
 1st Violin: 石井いずみ(〃) Violoncello: 菊地知也(〃)
 2nd Violin: 浅井千裕(〃)

第13回

1987年2月25日(水)

abc 会館ホール

開演●6:30

プログラム

サクソフォーン四重奏曲 デザンクロ
 Quatuor pour Saxophones.....A. DESENCLOS

Saxophones.

Soprano: 彦坂眞一郎(院1年) Tenor: 曾根美紀(院2年)
 Alto: 金井宏光(3年) Bariton: 小川 慎(2年)

木管五重奏曲 変ホ長調 作品88の2 ライヒャ
 Wood-Wind Quintet E^b-Major op. 88-2.....A. REICHA

Flute: 森田みどり(4年) Fagott: 井上俊次(4年)
 Oboe: 佐竹政史(4年) Horn: 阿部雅人(4年)
 Clarinet: 小林 聡(4年)

ピアノ三重奏曲 ラヴェル
 Trio pour Piano, Violon et VioloncelleM. RAVEL

Piano: 中川知保(4年) Violoncello: 丸山泰雄(4年)
 Violin: 井上澄子(4年)

— 休 憩 —

弦楽四重奏曲 イ短調 作品51の2 ブラームス
 String Quartet a-minor op. 51-2J. BRAHMS

1st Violin: 小宮 直(4年) Viola: 栗丸かおり(4年)
 2nd Violin: 三木希生子(4年) Violoncello: 菊地知也(4年)

弦楽四重奏曲 第2番 ニ長調 ボロディン
 String Quartet no. 2 D-MajorA. BORODIN

1st Violin: 嵯山久美(院1年) Viola: 上田敏子(院1年)
 2nd Violin: 佐藤直子(院1年) Violoncello: 浅岡洋平(院1年)

第14回

1988年2月26日(金)

abc 会館ホール

18:00開場 18:30開演

プログラム

組曲—モンテレジアンヒルズより カルヴェール
 Suite—From the Monterey HillsM. CALVERT

1st Trumpet: 神代 修(2年) Trombone: 棚田和彦(2年)
 2nd Trumpet: 寺島基文(2年) Tuba: 松下裕幸(2年)
 Horn: 岡村 陽(2年)

木管五重奏曲 フランセ
 Quintette pour Flûte, Hautbois, Clarinette, Basson et Cor
J. FRANÇAIX

Flute: 柴田 勲(4年) Fagott: 岡本正之(3年)
 Oboe: 渡辺克也(3年) Horn: 和田博史(3年)
 Clarinet: 高尾哲也(4年)

弦楽四重奏曲 第10番 変イ長調 作品118 ショスタコーヴィチ
 String Quartet no. 10 in A^b major op. 118
D. SHOSTAKOVICH

1st Violin: 小林美恵(3年) Viola: 市坪俊彦(3年)
 2nd Violin: 富安美穂(3年) Violoncello: 中沢央子(3年)

— 休 憩 —

ピアノ三重奏曲 第1番 ロ長調 作品8 ブラームス
 Piano Trio no. 1 in B major op. 8.....J. BRAHMS

Piano: 有森 博(3年) Violoncello: 渡辺辰紀(5年)
 Violin: 川井郁子(2年)

弦楽四重奏曲 第11番 ヘ短調 作品122 ショスタコーヴィチ
 String Quartet no. 11 in f minor op. 122
D. SHOSTAKOVICH

1st Violin: 松原勝也(院2年) Viola: 上田敏子(院2年)
 2nd Violin: 佐藤直子(院2年) Violoncello: 渡辺辰紀(5年)